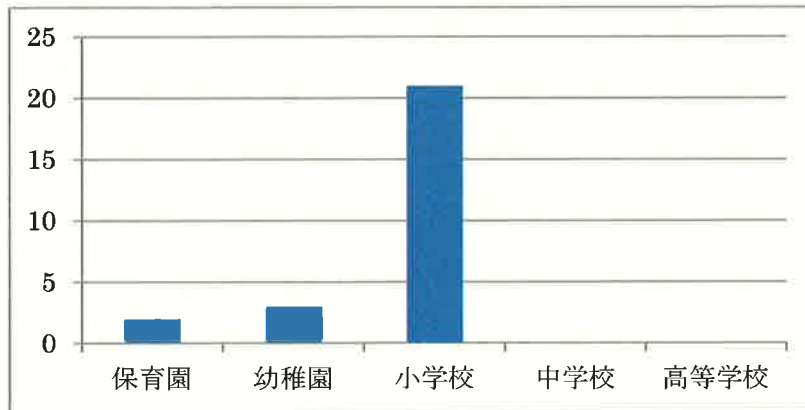


平成24年度専門指導員派遣事業アンケート集計結果

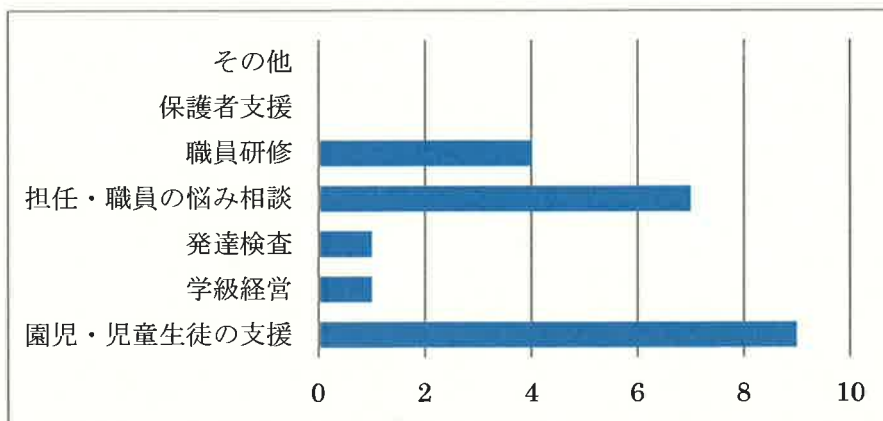
岡山県健康の森学園支援学校

2月末までに実施した学校園等から御回答いただいたものをまとめました。

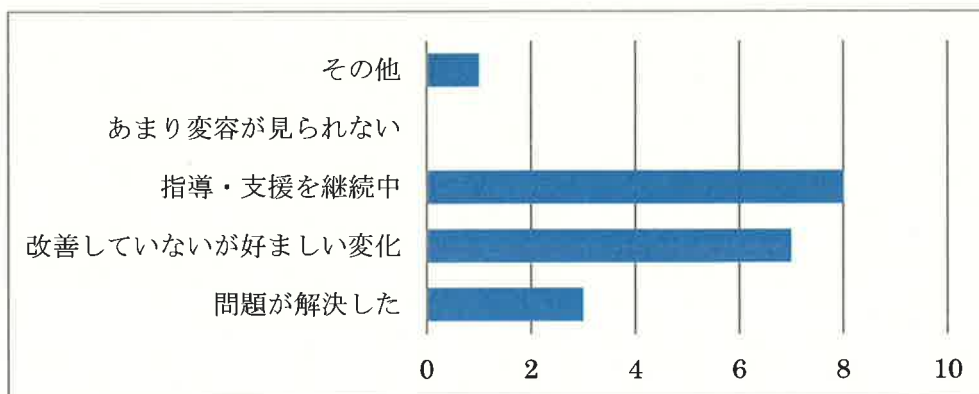
今年度相談件数：26回（のべ回数）



1（1）相談の内容



（2）巡回相談後の取り組みでケースはどのようになりましたか？



1 (3)

専門指導員派遣事業を受けて、園児・児童生徒を指導・支援する上で役だった（ヒントになった）ことをお書きください。

- 自立活動の指導について、一人で全部できなくてもよい。先生が 100 のうち 98 を手伝ってできてもそれでよい。
- 日常生活に結びつく内容をスモールステップで。「スモールステップが組めるかがポイント」と指導していただいた。
- 自立活動の内容に対するアドバイス（体力作りの活動に人間関係づくりの内容も入れてはどうかということ、薬の管理についての活動も大切な自立活動であるということなど）
- 人的支援よりも物的支援を多くし、それを頼りに自主的に活動できることが将来的にも大切になってくるということ。
- 「相手の方を向いて話す」よりも「相手のあごを見て話す」のように、具体的に見る所を示す方が本人にも分かりやすく、また評価も明確であること。
- 該当児への支援の仕方が具体的に分かった。
- 授業中の様子を参観してもらい、普段の様子を知ってもらったので、情報交換がスムーズにできた。
- 聞くこと、書くこと、視覚など、それぞれが苦手な子への対処法を具体的に教えていただいたことで学級経営がしやすくなった。
- 児童が落ち着かない場合の効果的な対応の仕方
 - ・声のかけ方の具体例・・・「〇〇をしてから△△に取り組みましょう。」
 - ・初めてのことや難しいことに対して、『成功する自分』をイメージすることが難しい場合、少しずつ具体的な手立てを考え、成功のイメージにつなげていく手法
- できた感を体験させることで、自分がうまくできるイメージを持たせることができる。そのためには、実態に応じた細かい支援が必要。（具体的に漢字テストなどは、三択で選んで見て書く方法もある。）
- できないことに目を向けるのではなく、できることに目を向け、そこから解決のヒントを得るということ。
- 保護者の要求に応えようとするばかりでなく、教師の側から提案をしていくということ
 - ・できるようにさせたい動きのために必要な動きを細かく洗い出すことで今必要な動きが明確になり、ステップを踏まえた指導になっていく。また、手がかりとなることがたくさんあるし、発見できる。
 - ・その動きについて細かく御指導をいただいたり、資料をいただいたりして具体的に教えてくださったこと。（参考図書など。）
 - ・毅然と対応すべきことと緩やかな指導でよいことの区別を教師がつけておくこと。
 - ・感覚刺激を求めるのは気持ちの安心や心の安定を求めていることもあるので、強制的にやめさせる必要はない。ただし、ルールを守ることを併せて指導していくことは必要である。
- 1回目の訪問で、指導形態の工夫によって、授業に集中しやすくなることや落ち着いて学習に取り組みやすくなることを具体的に教えていただいた。朝から2時間、児童の様子を見ていただいたことで児童の見方についても大変参考になった。授業の指導形態を変えて2回目の訪問時には、授業参観に加えて、購入したばかりのiPadの操作手順等の具体的な方法を教えていただき、すぐに利用することが可能になった。その後の授業に取り入れることができ、日々の授業に活用することで1時間の授業に以前より集中ができた。毎回、とても具体的に、すぐに取り入れることのできる内容だったので、大変良かった。
- すぐに実践できる支援を教えてもらった。
- 支援の方向性を導いてもらった。

- どこに重点を置いて支援すべきかがわかった。
 - ・衝動的行動の支援の仕方（行動する前に行き先、理由を伝える）
 - ・切り替えができにくいときの関わり方（約束を守ること）
- 発達障害の特性を知ることができた。また、「どのように子どもを見立てるか」「どのように共通理解を図るか」「どのように子どもに対応するか」など、支援の視点を分かりやすく教えていただき、今後の環境整備も含めた「考えていくこと」や「取り組んでいくこと」が明確になった。
- 友達への働きかけがうまくできない子、感情コントロールするのが苦手な子に対しては、表現力を育てることと本人のやる気を引き出す指導が大切なことをあらためて教えていただいた。

1（4）

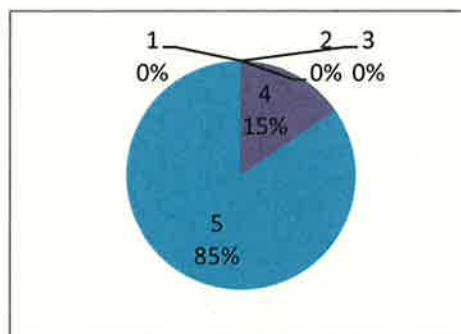
専門指導員派遣事業実施後、校内体制や職員の意識はどのように変わりましたか。

- 指導や助言していただいたことを生かしていこうとの意欲が見られた。また、職員会議でも報告し、今後の取組について共通理解した。
- 特別支援教育について、また、発達障害についての理解が進み、（今までも協力的であったが、）今まで以上に協力的になったように感じる。
- 支援員も含め、全職員でお話を聞いたので、全職員が同じ視点で支援に当たれるようになった。
- 自分たちの方針に誤りはないかと疑問があったが、その点は解決し自信を持って指導ができるようになった。
- 生きにくさを感じている子への支援について共通の認識をもって話し合えるようになった。
効果的だった指導方法を、継続していくことと効率化していくことが大切であることを認識した。そして、そのことを学校全体で共有し、次の支援につなげていくことを意識するようになってきた。
- アドバイスにより、少しずつ児童に対する見方や接し方が変わってきた。うまくいかないことも多いが、気持ちも前向きになれた。
 - ・引き続き専門指導員派遣事業を実施しているため、職員の意識は非常に高く、校内体制も充実してきている。今後も見直しを図ったり、共通理解を図ったりしながらさらに意識を高め、体制を整えていきたい。
 - ・全ての児童に対して特別支援教育での手立てや配慮を反映できるようになってきた。
 - ・全ての児童についてつまずきに対しての指導は、原因や要因を分析したり、ステップを考慮した指導となるように努めるようになった。
- 派遣事業後に、校内研修で算数授業を全職員に公開した。派遣事業で指導された内容や指導後に変えた事などを研修で説明し、支援学級の実態を見てもらって、今までより学校全体での理解が深まった。
- 支援者だけでなく、保育所の職員一人一人が共通理解できた。
- 子どもの状況に応じた支援の仕方を導いてもらえ、気分的に支援が楽になった気がする。
- 支援を必要とする子への理解が深まった。
- 発達障害を特別なものと考えず、「なぜできないのか」よりも「なぜできるのか」と捉え、校内・家庭・関係機関と連携しながら、「わかる手がかり」を見つけていけばよい、という意識が生まれた。
- 児童の様々な面を含め、全体をみること、今だけでなく、先を見通して指導していかななくてはならないと感じ、少し指導者がゆとりをもたなければと考えるようになった。

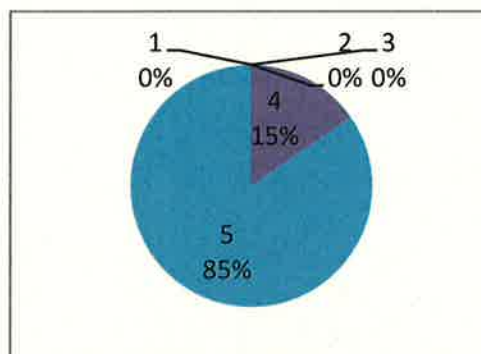
2 専門指導員派遣事業を受けて、(1) から (7) についてどのように感じ
ておられますか。あてはまる番号に○をしてください。

- 1 まったくあてはまらない 2 あまりあてはまらない
3 どちらでもない 4 少しあてはまる 5 とてもあてはまる

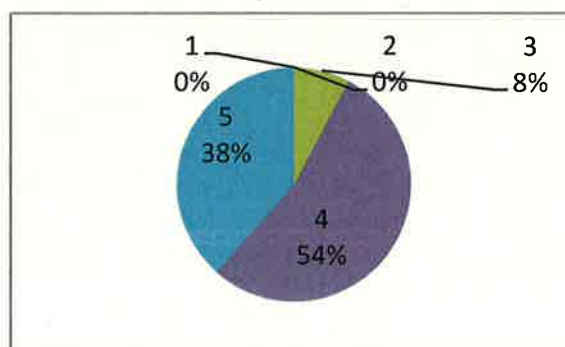
(1) 学校の考え、要望をよく聞いてもらえた



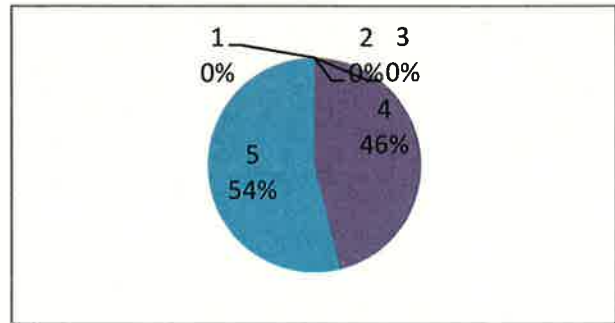
(2) 園児・児童生徒に対する理解が進んだ



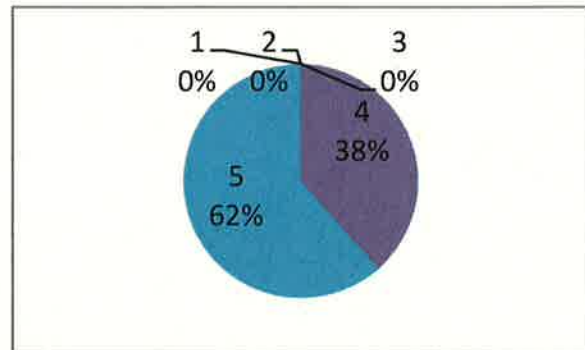
(3) 発達障害などの専門的理解が進んだ



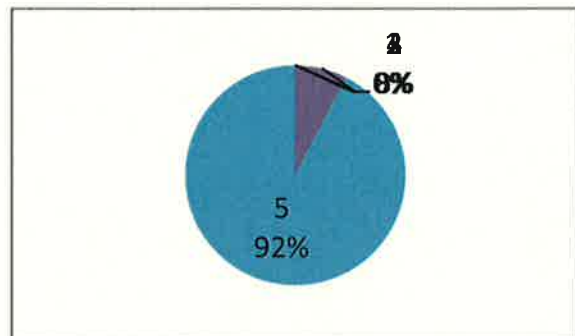
(4) 保護者や子どもに対する理解が進んだ



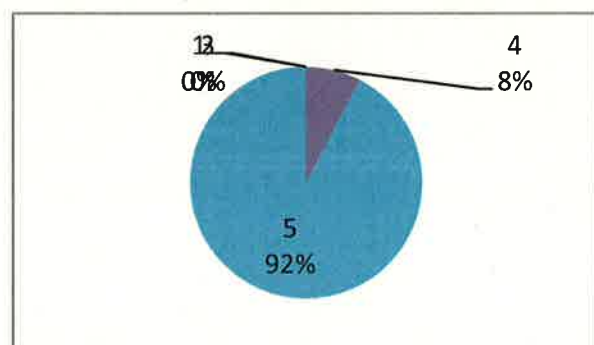
(5) 今後の見通し、展望をもつことができた



(6) 相談を受けてよかった



(7) またこの事業を活用したいと思う



3 専門指導員派遣事業全体を通して、お気づきになったことや、本校に対する御要望等がありましたら、自由にお書きください。

- 教員のやる気を引き出す具体的で的確な指導をしていただき、大変有り難く思いました。管理職、コーディネーターとしても、教職員との連携・協力について考えることができ、良い機会となりました。今後ともよろしくお願ひします。
- 昨年度に引き続いて御来校いただきましたので、継続して指導していただく良さを実感しました。
- 来年度も同じ児童と新しい児童を対象に本事業を活用したいと思っていますので、可能な限り同じ方に指導していただければよいと思っています。特別支援教育について専門的に御指導いただけることは大変ありがたいことです。来年度以降も引き続き御指導をいただきたいと思っております。
- 本当に分かりやすくお話をいただき、支援の必要な子どものことにも相談に乗ってもらい助かりました。一年に一度は専門的な研修を希望しています。またよろしくお願ひします。
- 普段授業をしている中では気づくことのできなかったことを色々と教えてくださり、大変ありがたかったです。
- 特別支援教育の視点を生かした指導の方法や教室環境についてのお話もとても参考になりました。
- 派遣事業があることで、専門的な知識やスキル、意識を知り、身に付けることができるので、心強いです。今後も利用させていただきたいです。
- こちらの困っていることや迷っていることについて、的確に指導していただいたことで授業の様子がずいぶん変わってきた。また、健康の森学園にも授業を見に来られたらと声を掛けてくださったことで学園の授業の様子も見ることができ、大変参考になった。派遣の手続きについても、2回目には直接担当の先生と電話連絡で予定の調整や指導内容についてお願ひすることができとても助かった。外部から専門的に指導が受けられるこの派遣事業の制度は大変良いと感じた。
- 昨年度も派遣事業を受けさせていただいたので、一人一人の子どもの成長を見ていただけてとても勉強になった。
- その年度だけで終わるのではなく、継続的に指導を受けさせていただきたい。
- 大変ありがたい事業だと思います。今後とも御指導よろしくお願ひ申し上げます。
- 今回、来春就学予定園児の案件について、幼稚園・小学校・関係機関が一堂に会し、情報を交換しながら研修を行ったことで、互いに共通理解を図りながらそれぞれの校園で直結する具体的な取り組みへと進展できそうである。派遣事業では異例のケースであったらしいが、本校のような悩みを抱えている学校は多いと思われる。今後、事務的な手続き等が簡素化され、より気軽に継続した派遣事業が開催できることが望ましいと考える。
- 長時間にわたり児童観察や指導をしていただき本当にありがとうございます。ただ、担任が悩んでいるような場面を実際の姿として見ていただけなかったのが話し合いが抽象的、一般的になりやすかったのが残念でした。教えていただいたことを参考にしながらその後の指導を行っています。